

# 令和4年 第26回玉名大俵まつり 新型コロナウイルス感染拡大予防 ガイドライン(俵ころがしレース用)

## — 俵ころがしレースに参加する者の心得 —

- 参加者は健康管理期間において健康チェックを行うこと。
- 手指消毒を徹底すること。
- 会場内ではマスクを常に着用すること。ただし、急性の呼吸器疾患防止の観点から、レース中の参加者はこの限りではない。
- 濃厚接触にならないよう、レース参加者は予めマーキングしてある綱の位置を握ることとし、必ず手袋を着用すること。
- ハイタッチなど、人との接触がある行動は控えること。
- 接触確認アプリ（COCOA）をインストールしておくこと。
- 参加する場合は、自己責任・自己管理のもと参加すること。



# 第26回玉名大俵まつり

## 俵ころがしレース



### 目次

基本方針	・・・・・・・・ 1P
1 基本的な感染対策	・・・・・・・・ 2P
2 レース参加者の健康管理	・・・・・・・・ 2P
3 参加者・スタッフ・見物人における具体的なコロナ対策	・・・・・・・・ 3P
4 参加自粛の判断、コロナ陽性時の対応	・・・ 5P

#### ◆参考資料

・ 基本的な感染対策	・・・・・・・・ 6P
・ マスク着用の考え方	・・・・・・・・ 7P
・ 感染リスクが高まる5つの場面	・・・・・・・・ 8P
・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」	・・・・・・・・ 8P
・ 参考HP等	・・・・・・・・ 9P

## はじめに

本ガイドラインは、国や県により出される新型コロナウイルス感染症対策会議による提言等を踏まえ、玉名大俵まつり俵ころがしレースの運営にあたり、新型コロナウイルス感染症予防の対策など留意すべき事項を取りまとめたものです。

今後、ウィズコロナの中で安心して開催できるまつりを目指して準備に取り組んでまいります。

## ～ 基本方針 ～

- 国・県からの要請や諮問委員会の提言等を基に、柔軟に対応する。

※可能な範囲で俵ころがしレースを催行し、工夫を凝らした運営を実施  
※ウィズコロナのまつりとして市民に受け入れられるまつりを目指す

- 健康管理期間を設け、健康チェックを行う。

※参加者はまつり開催日の前後1週間の健康観察を行い、発熱や風邪症状が認められる場合には、参加を自粛する

- 新しい生活様式に合わせた感染防止対策を実施する。

- スタッフ・見物人の感染リスクを抑える取組を実施する。

- 水際対策を徹底する。

※俵ころがしレース参加者の体調管理を徹底する。

## 1 基本的な感染対策

(1)飛沫の抑制：マスク着用や大声を出さないことの徹底

※大声の定義は「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。

(2)手洗、手指等消毒の徹底：こまめな手洗いや、手指消毒等除菌対策を徹底する。

(3)見物人間の密集回避：見物人においては、人と人とが触れ合わない距離を保つ。

(4)参加者等の感染防止策：発熱（37.5℃以上）や風邪等の症状を有する者は参加を控えるなど、日常からの参加者やスタッフ等の健康管理を徹底する。

## 2 レース参加者の健康管理

(1)俵ころがしレース参加者リスト兼参加申込書

様式は、公式ホームページからダウンロードを行い、参加者リストを作成・提出すること。

(2)健康チェックシート①(令和4年11月16日から11月23日分)

様式は、公式ホームページからダウンロードを行い、当日受付にて提出すること。有症状者の疑いがある場合は、参加を自粛すること。

(3)健康チェックシート②(令和4年11月24日から11月30日分)

まつり開催後は、健康チェックシート②に11月24日から11月30日まで記入を行い、参加者が各自保管しておくこと。

(4)健康管理の期間

原則、まつりが開催される11月23日の前後1週間を健康管理期間とする。

健康管理期間：令和4年11月16日から11月30日まで

(5)報告義務（感染者が発生した場合）

感染者が発生した場合、直ちに大俵まつり実行委員会へ報告を行うこと。実行委員会は、感染者の詳しい状況について確認すること。

(6)「俵ころがしレース参加者リスト兼申込書」「健康チェックシート①②」様式のダウンロードについては、玉名市ホームページよりダウンロードしてください。

◆玉名市HP 玉名大俵まつりのページ

<https://www.city.tamana.lg.jp/q/aview/424/23362.html>

### 3 参加者・スタッフ・見物人における具体的なコロナ対策

#### (1) 俵ころがしレース参加者の心得について

俵ころがしレースを安全に行うにあたり、レース参加者が待機時及びレース時において、心得ていただきたい内容をまとめています。

#### — 俵ころがしレースに参加する者の心得 —

- 参加者は健康管理期間において健康チェックを行うこと。
- 手指消毒を徹底すること。
- マスクを常に着用すること。ただし、急性の呼吸器疾患防止の観点から、俵ころがしレースの最中についてはこの限りではない。
- 濃厚接触にならないよう、レース参加者は予めマーキングしてある綱の位置を握ることとし、必ず手袋を着用すること。
- ハイタッチなど、人との接触がある行動は控えること。
- 携帯電話を所持している者は接触確認アプリ（COCOA）をインストールすること。
- 参加する場合は、自己責任・自己管理のもと参加すること。

#### ※濃厚接触者の定義

手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と15分以上の接触があった者

#### (2) レース参加者・スタッフ・見物人の詳細内容

##### 【レース参加者】

- ① 体調管理を徹底し、有症状者の疑いがある場合は、参加を自粛すること。
- ② 参加する場合は、自己責任・自己管理のもと参加すること。
- ③ マスクを常に着用すること。ただし、急性の呼吸器疾患防止の観点から、俵ころがしレースの最中はこの限りではない。
- ④ 濃厚接触にならないよう、俵を引く際は綱に貼り付けたマーカートの箇所を持ち、必ず手袋を着用すること。
- ⑤ レース時以外において、大声での会話や発声を行わないこと。
- ⑥ ハイタッチなど、人との接触がある行動は控えること。
- ⑦ 携帯電話を所持している者は接触確認アプリ（COCOA）をインストールすること。
- ⑧ 自身の安全管理と感染リスクを低下させる意識を常に持つこと。

- ⑨ 飲み物の回し飲みは行わないこと。
- ⑩ スタッフの指示に従うこと。
- ⑪ 俵ころがしレース参加者リストを作成すること。
- ⑫ 健康管理期間においては、「健康チェックシート」を用いて記録を行うこと。
- ⑬ 参加チームのメンバーすべてが「俵ころがしレースに参加する者の心得」の内容を理解しておくこと。
- ⑭ 高校生以下の者については、国の基準等を考慮した上で、保護者の責任において参加させるものとする。

#### 【スタッフ】

- ① 体調管理を徹底し、有症状者の疑いがある場合は、参加を自粛すること。
- ② 参加する場合は、自己責任・自己管理のもと参加すること。
- ③ マスクを常に着用すること。ただし、急性の呼吸器疾患防止の観点から、並走審判に限り俵ころがしレース中はこの限りではない。
- ④ 並走審判は必ず手袋を着用すること。
- ⑤ 人との接触がある行動は控えること。ただし、危険回避時や緊急時はこの限りではない。
- ⑥ 携帯電話を所持している者は接触確認アプリ（COCOA）をインストールすること。
- ⑦ 自身の安全管理と感染リスクを低下させる意識を常に持つこと。
- ⑧ 飲み物の回し飲みは行わないこと。

#### 【見物人】

- ① 体調管理を徹底し、有症状者の疑いがある場合は、来場を自粛すること。
- ② 来場する場合は、自己責任・自己管理のもと参加すること。
- ③ 飲食時以外はマスクを常に着用すること。
- ④ 大声での会話や発声を行わないこと。
- ⑤ ハイタッチなど、人との接触がある行動は控えること。
- ⑥ 携帯電話を所持している者は接触確認アプリ（COCOA）をインストールすること。
- ⑦ 自身の安全管理と感染リスクを低下させる意識を常に持つこと。
- ⑧ スタッフの指示に従うこと。

## 4 参加自粛の判断、コロナ陽性時の対応

### (1) 大俵まつり開催前まで

まつり開催前1週間(11月16日から11月23日)の健康観察において、以下に当てはまる場合は、参加を自粛してください。

- ①37.5℃以上の発熱が出た場合
- ②風邪症状がある場合(のどの痛み、咳、多量の鼻水など)
- ③参加予定者の同居家族から、37.5℃以上の発熱者が出た場合 など

⇒まつり当日、受付にて「健康チェックシート①」提出時に確認します。

#### 【対応】

- ・玉名大俵まつり実行委員会事務局にご連絡ください。補助員で対応が可能な場合は、参加者名簿等の再提出の必要はありません。
- ・チームとしての参加が困難になった場合は、必ずご連絡をお願いいたします。

◆連絡先：0968-73-2222 もしくは、080-5260-3874(担当者携帯)

### (2) 大俵まつり開催後1週間

まつり開催から1週間後(11月24日から11月30日まで)の健康観察において、発熱や体調不良等で病院を受診した結果、「コロナ陽性」と判断された場合は以下のとおり対応をお願いします。

#### 【対応】

- ・陽性となった本人はチームの代表者へ速やかに連絡してください。
- ・チームの代表者は大俵まつり実行委員会事務局へ速やかに連絡してください。

◆連絡先：0968-73-2222 もしくは、080-5260-3874(担当者携帯)

(1) 基本的な感染対策 参考HP(※1)

イベント開催等における必要な感染防止策

項目	基本的な感染対策
①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底	<p>□飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、大声を出さないこと（「大声あり」のイベントの場合は除く。）や適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用を周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる</p> <p>* 大声を「観客等が、㉗通常よりも大きな声量で、㉘反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を施さないイベントは「大声あり」に該当することとする。</p> <p>* 大声を伴う可能性のあるため収容率を50%とする場合でも、常に大声を出すことは飛沫防止の観点から望ましいものではないため、対策を徹底すること。</p> <p>* 飛沫が発生するおそれのある行為には、大声での会話を誘発するような、大音量のBGMや応援なども含む。</p> <p>* マスクの着用については、厚生労働省HP「マスクの着用について」を参照。なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。</p>
②手洗、手指・施設消毒の徹底	<p>□こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）</p> <p>□主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施</p>
③換気の徹底	<p>□機械換気による常時換気又は窓開け換気</p> <p>* 必要な換気量（一人当たり換気量30m<sup>3</sup>/時を目安）を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね1,000ppm以下を目安（二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的）</p> <p>* 機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、可能な範囲で2方向の窓開け</p> <p>* 機械換気、窓開け換気ともに相対湿度の目安は40-70%</p> <p>* 屋外開催は除く</p>
④来場者間の密集回避	<p>□入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施</p> <p>□休憩時間や待合場所での密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築</p> <p>* 入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はキャパシティに応じて収容人数を制限する等、最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保する。</p> <p>□大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保</p> <p>* 「大声あり」の場合、座席間は1席（立席の場合できるだけ2m、最低1m）空けること。</p>
⑤飲食の制限	<p>□飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底</p> <p>□食事中以外のマスク着用の推奨</p> <p>□長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛</p> <p>* 発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。</p> <p>□自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）</p>



項 目	基本的な感染対策
⑥出演者等の感染対策	<input type="checkbox"/> 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者（演者・選手等）の健康管理を徹底する *体調が悪いときは医療機関等に適切に相談。 <input type="checkbox"/> 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。 *練習時等であっても、適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフ等の関係者間の適切な距離確保、換気、必要に応じた検 査等の対策が必要。 <input type="checkbox"/> 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）
⑦参加者の把握・管理等	<input type="checkbox"/> チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握 *接触確認アプリ（COCOA）や各地域の通知サービス（BluetoothやQRコードを用いたもの等）を活用。 *原則、参加者全員に対してアプリダウンロードまたは、氏名・連絡先等の把握を徹底。 <input type="checkbox"/> 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止 *チケット販売時に、有症状の場合は早めに連絡・キャンセルすることを周知すること。 <input type="checkbox"/> 時差入退場の実施等イベント前後の感染防止の注意喚起

## (2) マスク着用の考え方 参考HP(※2)

### 【マスクの着用を推奨する場面・必要としない場面】

	他者との距離(2m以上)が確保できる		他者との距離が確保できない	
	屋 内	屋 外	屋 内	屋 外
会話を行う	着用を <b>推奨</b>	着用の <b>必要なし</b>	着用を <b>推奨</b>	着用を <b>推奨</b>
会話をほとんど 行わない	着用の <b>必要なし</b>	着用の <b>必要なし</b>	着用を <b>推奨</b>	着用の <b>必要なし</b>

※高齢者などとの面会時や病院内など、重症化リスクの高い人と接する場合には、マスクの着用を推奨。

※2歳未満の子どもの着用は推奨されない。


2歳以上でも、就学前の子どもは、他者との距離にかかわらず、マスクの着用を一律には推奨しない。

(3) 感染リスクが高まる5つの場面 参考HP(※3)

## 感染リスクが高まる「5つの場面」


**場面① 飲酒を伴う懇親会等**

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。




**場面② 大人数や長時間におよぶ飲食**

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。




**場面③ マスクなしでの会話**

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。




**場面④ 狭い空間での共同生活**

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



**場面⑤ 居場所の切り替わり**

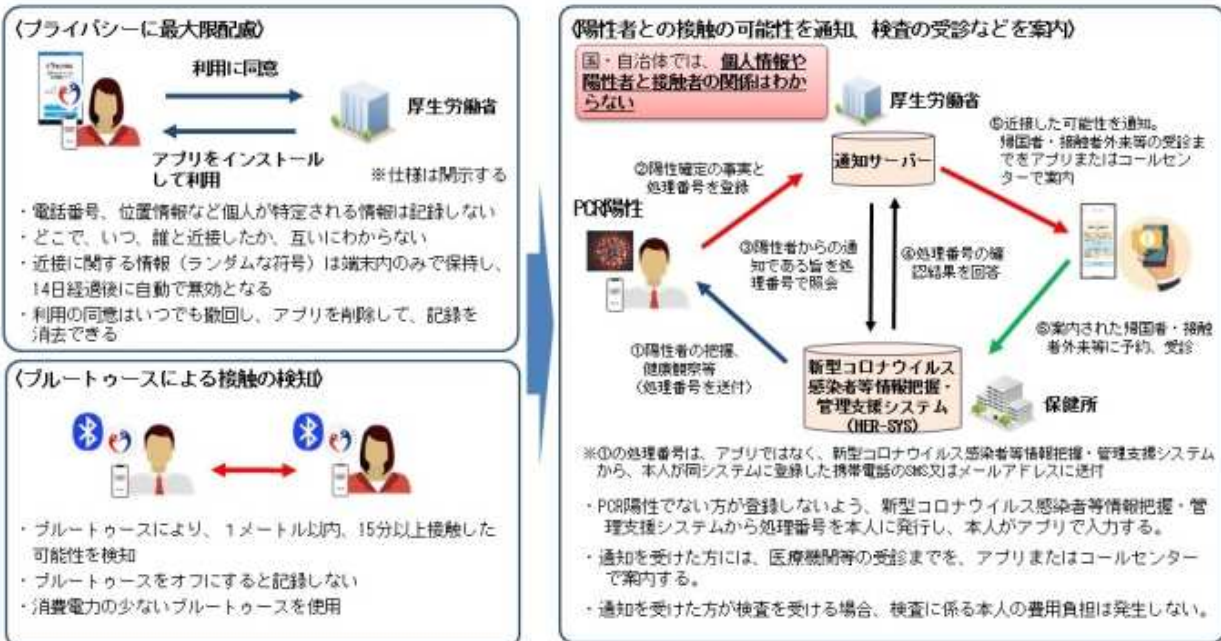
- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



(4) 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」 参考HP(※4)

### 接触確認アプリ ～プライバシーへの配慮と接触の通知の仕組み～

- 接触確認アプリは、本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受けることができます。
- 利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながる事が期待されます。



新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをおねがいします

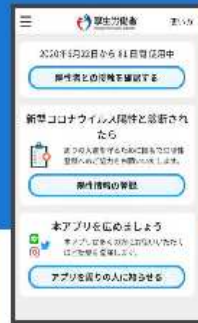
自分をまもり、大切な人をまもり、  
地域と社会をまもるために、  
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省

## 新型コロナウイルス 接触確認アプリ

(略称：COCOA)

COVID-19 Contact Confirming Application



\*画面イメージ

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の  
感染者と接触した可能性について、通知を受け取  
ることができる、スマートフォンのアプリです

○本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、  
スマートフォンの近接通信機能（ブルートウ  
ース）を利用して、お互いに分からないようプ  
ライバシーを確保して、新型コロナウイルス感  
染症の陽性者と接触した可能性について、通知  
を受けることができるアプリです。

○利用者は、陽性者と接触した可能性が分かるこ  
とで、検査の受診など保健所のサポートを早く  
受けることができます。利用者が増えることで、  
感染拡大の防止につながることが期待されます。



iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら



内閣官房

新型コロナウイルス感染症対策推進室  
情報通信技術(IT)総合戦略室

### ■参考HP等

#### ◎熊本県

・ イベントの開催制限について <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/96627.html#3>  
(※1) イベント開催時の基本的な感染防止対策 添付資料

・ マスクの着用について  
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/137944.html>  
(※2) マスク着用の考え方 添付資料

#### ◎厚生労働省

・ スマートライフのために  
<https://corona.go.jp/prevention/pdf/infection-20201117.pdf>  
(※3) 感染リスクが高まる5つの場面 PDF

・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000772029.pdf>  
(※4) 接触確認アプリの概要  
(※4) 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」(ビラ)

・ 新型コロナウイルス感染症の“いま”についての11の知識(※2022.8掲載)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000927280.pdf>